CHANDLER™
LIMITED

TG CHANNEL mkII

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

CHANDLER LIMITED

TG CHANNEL mkII

EMI/ABBEY ROAD スタジオの TG コンソールの音質は BEATLES の後期作品や PINK FLOYD の数々の名作における素晴しくナチュラルでオーガニックなアナログサウンドを完成させました。また現代においても OASIS 等の作品でその美しいビンテージ TG コンソールの音を聴くことができます。そのサウンドに大きく貢献しているのがオリジナル TG コンソールの EQ でした。この EQ は銘器 Pultec EQP-1a3 を基盤にした素晴しい質感を持っていました。

TG Channel は定番の TG2 マイクロホン・プリアンプと同じディスクリート、トランスフォーマー構造を持つヘッドアンプと Pultec タイプのパッシブ EQ の待望のコンビネーションです。

オール・インダクター・デザインによる素晴しい EQ デザインはオリジナルの<BEATLES DESK>を完璧に再現しています。この EQ の持つスゥイートな High、ポイントを押さえた Mid-Cut、リッチでクリーミィーな Low はいつの時代も変わらない極上のアナログ質感そのものです。銘器 Pultec EQP-1a3 が極めたパッシブ EQ の全てが贅沢に収められています。

TG2 ヘッドアンプが達成した最高のアナログサウンドはこの TG Channel にも同様に組み込まれています。NEVE の持つハーモニクス感覚と API の持つ温かいパンチを持ち合わせた永遠のビンテージ・サウンドを操ります。マイク入力に加え、ライン入力、楽器用の D.I 入力も装備しており幅広い用途に対応できます。

現代のデジタルレコーディングに必要なオーガニック・サウンドの全ては TG Channel のボックスの中に収められています。

PSU-1(専用パワーサプライ、別売)で動作します。

TG Channel は 100%ディスクリートのトランジスター回路、特別仕様のトランスフォーマー、精巧極まりない技術と丁寧なハンドメイドによって素晴しいビンテージサウンドを再現しています。プリアンプ部分は TG2 と同様のデザインを採用し、パッシブ+インダクターベースの EQ を装備しています。

CONNECTIONS

TG CHANNEL の接続は 2 番ホットのトランスフォーマーバランスです。

POWER SUPPLY

専用の PSU-1（別売）を使用します。専用 4 ピンケーブル（付属）で接続します。

INPUT GAIN/MIC-LINE LEVEL

TG CHANNEL はバランスのマイク/ライン入力を装備しています。マイクインプットは 2.4k インピーダンスのトランスフォーマー・バランスです。またラインインプットは 10k インピーダンスの同じくトランスフォーマー・バランスとなっております。フロントパネルの LINE スイッチを押すことで MIC と LINE の入力切替が可能です。フロントパネルのゲインコントロールの LINE ゲインは白の文字で、MIC ゲインは黄色で表示されています。また表示の無いところにノブをセットすることができます（最高ゲインの 1 つ上、最低ゲインの 1 つ下）。このサウンドはハーモニック感溢れるリッチなサウンドとファジーなサウンドを作り出す特殊なポジションです。

OUTPUT

コンソールのマスターフェーダーに相当します。このコントロールはゲインステージの後、アウトプットステージの前に設けられています。インプットの信号をトリム可能ですので、インプットを大変ホットなシグナルに設定して（エクストラな色付け）、レコーダーでは歪まないようにアウトプットトリムすることが出来ます。大半の場合左に絞りきったフルポジションで使用します。

PUSH BUTTONS

4 つの押しボタンは以下のファンクションを持っています。

1、48V ファンタムのオン/オフ

2、フェイズ・リバース

3、LINE/MIC 入力切替

4、EQ の IN/OUT　プッシュすると EQ をオンにします

DI/UNBALANCED IN

ギターやベースなどのアンバランス入力切替です

EQUALIZER (High Boost & MId Peak)

TG CHANNEL の High Shelf & Mid Peak はシェルフタイプとピークタイプを周波数によって使い分けています。パッシブコンポーネントによるシェルフEQ はコンデンサーによって構成されており、ピークEQ はインダクター構成となっており、2 タイプの異なるサウンドタイプを持ち合わせています。MID ピーク EQ には High Q スイッチを備えており、このスイッチをオンにすることで Q をよりシャープにして更なるバリエーションを活用できるようになります。ブーストコントロールは 0-18dB を 2dB ステップでコントロール可能です。

帯域は以下のようになっております

16、12、8.1、6.8kHz (Shelf EQ)

5.8、3.9、2.2、1.8、1.2kHz (Peak EQ)

EQUALIZER (Mid Cut)

TG CHANNEL の Mid EQ は不必要な帯域を効率良くカットできるように設計されています。低い周波数ポイントは大変シャープな Q を持ち帯域のノッチアウトを可能にします。また高いほうの周波数ポイントは多少ワイドな Q となっておりジェントルなサウンドとなります。カットコントロールは 0-18dB を 2dB ステップでコントロール可能です。

帯域は以下のようになっております

350、400、500、600、700、850Hz

EQUALIZER (Low Boost)

TG CHANNEL の Low EQ はシェルフタイプとピークタイプを周波数によって使い分けています。シェルフ EQ、ピーク EQ 共にインダクター構成となっております。シェルフのブーストが始まる部分は大変段階的なカーブとなっています。ブーストコントロールは 0-20dB を 2dB ステップでコントロール可能です。

帯域は以下のようになっております

50、70、100、200Hz (Peak EQ)

100、200Hz (Shelf EQ)

LOW CUT(High Pass)

LOW CUT スイッチをオンにすると低域を緩やかにロールオフします。

帯域は以下のようになっております

30、60、90、150、300Hz